2024年5月26日
「あなたがたは、互いに赦し合いなさい」
コロサイの信徒への手紙3:1-2、12-14
坂元 高牧師

このコロサイの信徒への手紙は、使徒パウロが獄中からにも拘らず、「喜びの手紙」と呼ばれているパウロの手紙のひとつであります。私たちは、この手紙を、今私たちに与えられた「喜びのメッセージ」として、読ませていただくのであります。
パウロはコロサイの人々、いやこの私たちに向かってこう言っています。“あなたがたはキリストと共によみがえらされたのだから、地上のものに心を惹かれてはならない。すでに天上の神の右におられる主キリストのことを思うべきである。”と。なぜなら、あなたがたキリスト者は、キリスト・イエスにあずかる洗礼を受けたことにより、キリストと共に死に、そしてキリストと共に新しい生命に生かされているからである、とパウロは言うのです。
では具体的に、どんなキリスト者としてあなたがた(この私たち)が変わって行って欲しいと、パウロは言っているのでしょうか。それは、今日までの古い衣服(古い自分)を脱ぎ捨て、新しい服(イエス・キリスト)に着替えて出直すこと、つまり、あなたがた(この私たち)が新しいキリスト者へと出直して、変えられて行って欲しいと訴えているのではないでしょうか。
パウロが示す「新しいキリスト者」とは、私たちの周りでどんな人でしょうか。コロサイの人々に言っていますが、「互いに赦し合える人、謙遜な人、あわれみの人」であり、そんな心を「愛」という帯で結び合える人のようであります。お互いに祈りつつ、少しずつ周りの親しい人たちとの間からでも実践したいものであります。なぜなら、とにもかくにも、イエス様が先に、私たちの罪を全て赦して下さって私たちの今があるのですから。
まず私たちの隣人への赦しから始めなければなりませんね。